

緊急要望書

2010年2月9日

文部科学大臣 川端達夫殿
厚生労働大臣 長妻 昭殿

高校生有志

「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク（仮称）準備会

（発起人：湯澤直美、山野良一、三輪ほう子）

080-1158-3494

anti_childpoverty@yahoo.co.jp

日々、「いのちを守る」政治を実践していただき、深く感謝します。

2010年度からの公立高校授業料無償化は、多くの生活苦にあえぐ子どもたちに「学ぶ」権利の保障を進めるものとして、強く歓迎しているところです。

他方、それより一年前に生まれた今の高校生のうち、決して少なくない数の子どもたちが経済的理由による学費滞納、それによって「出席停止処分を受ける」「卒業証書を渡してもらえない」という危機（“卒業クライシス”）に直面しています。

現在、厳しい雇用情勢の中、高卒・大卒の新卒者ですら就職活動に苦勞していることは、ご承知のとおりです。そのような中、卒業できず「中退」扱いとなってしまった子どもたちのこれからの苦勞は、容易に想像できることと思います。わずか一年の違いが一生の違いをもたらすことは、「仕方がない」と片付けるにはあまりにも酷な現実です。

学び続ける権利の保障、雇用対策、若者のワーキング・プア化を防ぎ貧困の連鎖を断ち切る、という複数の観点から、要望させていただきたいことは多岐に亘りますが、学校の卒業判定会議を今月中に控えた現在、さしあたり以下の点についてのみ、緊急に要望させていただきます。

記

文部科学省・厚生労働省が連携して、都道府県の教育委員会、公立・私立の高等学校、授業料を滞納している高校生とその保護者に対して、授業料減免・奨学金・公的貸付などの既存施策の活用をきめ細かく周知し促し、また必要に応じて施策を改善・創設して、今年度末に経済的理由による学費滞納によって卒業させられない高校生が一人も生まれないようにしてください。